



翼



明確な「目的」と具体的な「目標」

校長 辻 康一

先日の運動会では、みなさんの真剣な姿、学年を越えて心から声援を送る姿が素晴らしかったです。また、その前には修学旅行が行われ、3年生の人たちにとっては、大きな行事が続きました。そこでも、自分たちで声をかけあいながら「いい修学旅行にしよう」という気持ちが伝わってきました。今月は定期考査も控えています。前は「頑張る」ということについてお話をしましたが、今回は、自らの人生を方向付ける「目的」と「目標」のお話です。

たとえば、たくさんの色とりどりの図形が並んでいる絵があるとします。そして、それらを1分間でよく記憶するように指示を出します。その後、絵を隠して「緑色の四角形は何個ありましたか」と質問をしても、正確に答えられる人は少ないでしょう。しかし、事前に「緑色の四角形はいくつありますか」という質問をした後に、絵を見れば一目瞭然です。それは、「緑の四角形はいくつあるだろう」と目的をもって絵を見るからです。このように生徒たちには漫然と「頑張る」のではなく、「目的」をしっかりとって努力してほしいと思います。

さて、目的とよく似た言葉に「目標」があります。「目的」とは一言で表すならば、ゴールです。山に例えるなら、頂上といえるでしょう。自分が「達成したい」、「こうなりたい」と考える理想の姿です。そして、「目標」とは目的を達成するための具体的な手段や計画です。同じく山に例えるならば、頂上に到達するためのルートと、そのポイントです。

では、「定期考査で80点以上をとる」というのは、目的でしょうか目標でしょうか？

自分の望む進路に進んで、充実した学校生活を送りたいという目的に対して、それを達成するためには

- ①今回のテストでは80点を取る
- ②そのためには間違わないようになるまで試験範囲のワークを繰り返す
- ③それには、毎日2時間以上の勉強が必要だ

というように、ゴールを見据えて具体的に目標を設定することが大切です。

日本には古来より「言霊（ことだま）」という言葉があります。これは、発した言葉が何らかの形で現実に影響を与えるというものです。同じような考えは、他の国でも見られ、最近の脳科学の研究ではRASという脳の機能が関係しているのではないかという説もあります。

どうか生徒のみなさんには、目的をしっかりと見据え、具体的な目標を立て、実現に向かって、突き進んでくれることを期待します。

■世界遺産、京都・奈良を訪ねて～3年生修学旅行～

5月16日(土)～18日(月)に3年生は修学旅行として、奈良・京都に行きました。通常級の生徒が考えたスローガンは「楽学両道—今鹿できない思い出を—」で、IJ学級の目標は「目的を忘れずに楽しく自主的に取り組もう！」でした。生徒たちはこの言葉通り、古都の歴史や文化を熱心に「学ぶ」姿勢と、仲間との時間を全力で「楽しむ」姿勢の両方を大切にしていました。奈良の文化に圧倒され、京都の班別行動では互いに協力しながら、今しかできないかけがえのない思い出と深い絆を築くことができました。

保護者の皆様には、出発前からの体調管理や準備など、多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。この経験を糧に、最高学年としてさらに大きく成長していく姿をご期待ください。 (文責：古川)



東京駅で出発式



東大寺南大門



平安神宮



嵐山 渡月橋



2日目の京都の夜 絵付けの体験



三十三間堂

■運動会 6月4日(水)

今年の運動会も体育行事委員が中心となり、ひばりが丘中学校の伝統である生徒が主体となって行事をつくるという伝統をしっかりと受け継ぎ、見ている人たちの心を熱くする運動会となりました。

< I J 学級 >

「勝つ！そして全力で笑顔輝く運動会に」これは IJ 学級が決めた運動会の目標です。今年は大縄に挑戦しました。笑顔で輝く運動会にするためには IJ 学級としてまとめ、みんなで支え合いながら練習に取り組むことが大切です。予行では悔しい思いをした場面もありましたが、そこからまた練習を繰り返しました。その成果もあってのゴールド賞です。リレーでは着実にバトンを繋ぎ、全力で最後まであきらめない姿や選抜リレーでは颯爽と走り抜ける姿は見ている人たちから自然と拍手が沸き上がるほどでした。

< 1 年生 >

中学生になって初めての運動会。入学して2か月が過ぎましたが、大きく成長したところを見せることができました。1年生の魅力は、どんなことにも全力投球で臨む姿勢がとても素晴らしかったです。ローハイドや全員リレーでは随所にその姿が見られました。また小学校のときよりも自分たちで動き、自分たちで行事をつくるのが求められるのが、中学校です。学年練習ではその難しさも実感しましたが、運動会を通して、中学生として成長した姿が多く見られました。

< 2 年生 >

先輩として迎えた2回目の運動会。この2か月で、運動会だけでなく、部活動や委員会活動など様々なところで先輩として1年生を引っ張ってきてくれました。先輩は「口だけではなく行動と態度が伴って初めて先輩として認めてもらえます」この運動会ではその姿が多く求められる運動会でした。大縄跳びでは、回数を重ねるごとに声を掛け合い、失敗しても励まし合いながら挑戦する姿が見られ、記録だけではなく仲間を支える気持ちを大切にしている姿はまさに、先輩として立派でした。

<3年生>

最後の運動会。三年生は常に全てに「最後」という言葉がつきます。最後の運動会を最高の運動会にするためには最後までやりきる、全力をだしきる、まさに完全燃焼が求められた運動会でした。ムカデ競走では全員で声を張り上げ、転んでも立ち上がっては前に進んでいく姿、全員リレーでは見ている人たちが興奮するほどの迫力ある走り、ソーラン節では、つい数日前までは完成にはほど遠かったけど、ソーラン実行委員の頑張りもあり、ぐっと学年としてまとめ、最後の最後には最上級生として全力で踊りきる姿を見せてくれました。

<終わりに>

保護者の皆さま、地域の皆さま本校の運動会はいかがだったでしょうか。本校の自慢は生徒です。ひばりが丘中学校の生徒には大きな力があり、どんな行事も自分たちでつくりあげることができます。また運動会練習を通して広がった友達の輪や深まったクラスの仲を、これからのクラスづくりや友達関係、行事や学校生活に生かしていくことができるのも、本校の生徒の自慢1つです。最後になりますが、保護者の皆様、最後まで熱い熱い熱い声援をありがとうございました。また、PTA役員のみなさん、おやじ倶楽部のみなさん、中原小おやじの会のみなさん、運動会を支えていただき本当にありがとうございました。

(文責：伊藤)



開会式



準備運動



1年生 ローハイド



2年生・IJ学級 大縄跳び



3年生 ムカデ競走



3年生ソーラン節